

私たちの街、大阪・信太山から、戦場のイラクへ  
自衛隊が派遣されようとしています

# 自衛隊派兵やめよ！

## STOP THE WAR ON IRAQ!

アメリカの言う大量破壊兵器はありませんでした。戦争の口実は根底から崩れ去りました。けれど・・・大義も正義もない無茶な戦争で奪われた10万人余のイラク市民の命は取り戻せません。

自衛隊はイラクから撤退すべきです。信太山からの派兵をやめさせましょう。



戦後60年を迎えるいま、歴史教科書問題や、憲法改悪の動きが強まっています。「再び戦争はしない」と誓った憲法「9条」の意味をあらためて考え、戦前の日本に逆行りさせないためにも、憲法9条を守り、一人ひとりの平和への思いをみんなの大きな声にしていきましょう。

### 平和への願いを

### 自衛隊はイラクで何をするの？

復興支援の目玉だった給水活動は、2月始めに終了しました。これから派遣される隊員は何をするのでしょうか？

そもそも給水や道路・建物の修復などの支援に携わってきたのは全体の3分の1程度です。他は警備や、米軍などの物資・武器・兵員の輸送の手助けを行っています。これは明らかに占領支援活動です。

イラク国民の大多数が占領軍の撤退を求めています。だからこそ占領に反対する現地の勢力が自衛隊に対し「攻撃の対象にする」と警告しているのです。

### 私たちの街から行かせない

自衛隊のイラク派兵は北海道の部隊から始まって、今、愛知県などの部隊が行っていますが、5月には、信太山をはじめ関西の部隊の大規模派遣が行なわれようとしています。和泉市にある自衛隊の信太山駐屯地（第37普通科連隊）は北陸から四国など2府19県にまたがる中部方面隊（総監部・伊丹市）に所属しています。

この信太山の自衛隊117名は昨年、ゲームでアメリカ海兵隊から2週間にわたり、イラク戦争での市街戦を想定した実戦的な訓練を受けています。平和憲法をもつ日本の自衛隊が、イラク国民を殺すことも、殺されることもあってはなりません。

憲法9条守れ、

自衛隊は撤退せよ！

### 自衛隊員の生命を

### 危険にさらさないで

イラクでは、新政府がつくられつつありますが、今も戦闘が続いています。最近では解放されたイタリヤ人ジャーナリストと同政府関係者を米軍が誤って攻撃、死傷させる事件も起こっています。現地では今もひき続き緊迫した事態が続いています。

自衛隊派遣はイラク特措法にも、憲法にも違反しています。国連決議にも反する無茶なアメリカの戦争と占領に協力するために自衛隊員の生命を危険にさらすことは許せません。

